

Determinants of Derivatives Use -Evidence from Small and Medium-sized Enterprises-

明治大学 浅井義裕

デリバティブは、企業のリスク管理などによく用いられている。デリバティブに関する研究は数多いが、「リスク管理目的のデリバティブ利用」と「投機目的のデリバティブ利用」を区別した分析はほとんどない。また、中小企業が、どの程度、どのような目的でデリバティブを利用しているのかを明らかにした研究はほとんどない。そこで、本研究では、浅井義裕(2015)「中小企業の保険需要とリスクマネジメント—アンケート調査の集計結果—」『明大商学論叢』第97巻4号 pp. 45-82 でまとめたデータ（全国の製造業、中小企業3500社を対象にアンケートを送付し、909社から回答が得られた）を利用し、デリバティブ利用の目的を区別したうえで、中小企業におけるデリバティブ利用に関する実証的な分析を行う。

分析の結果、以下のような結果が得られた。まず、銀行との関係が十分に構築できていないと考えられる中小企業は、「リスク管理目的」、「投機目的」ともに、デリバティブが利用する傾向があることが明らかになった。また、独立系の中小企業では、投機目的でデリバティブを利用しない傾向があることが確認できた。輸出や輸入に従事する企業、海外に工場や営業所を持つ中小企業では、リスク管理目的でデリバティブを利用する傾向があることが分かった。さらに、東京に本社がある中小企業は、リスク管理目的でデリバティブを利用する傾向があるなど、地域間で、デリバティブを利用する傾向に差があることが明らかになった。